

令和8年度  
(2026年度)

## 上下水道部の取り組み

### <部長の方針・考え方>

水道・下水道事業については、人口減少や水需要の減少、物価高騰による経費増加など厳しい経営環境の中においても、公営企業として独立採算を原則に、公民連携やDXの推進による業務の効率化を図り、経営戦略等に基づく事業を着実に推進します。あわせて、施設の老朽化対策や耐震化を進めるとともに、施設や設備の現状について、お客さまに理解を深めていただけるよう、継続的にわかりやすい周知・広報に取り組みます。また、将来を見据えた投資財政計画の策定や水道料金のあり方の検討も含めて、持続的・安定的な事業運営を図ります。

#### 【基本理念】

未来につなぐ 枚方の水道

未来につなぐ 枚方の下水道

### <部の構成>

上下水道総務課  
上下水道政策課  
上下水道財務課  
上水道管理課  
浄水課  
上水道保全課  
下水道管理課  
下水道整備課  
下水道施設維持課

### <主な担当事務>

- (1) 部の事務事業の見直しの総括に関する事。
- (2) 部の総合計画及びその調整に関する事。
- (3) 部の予算及び決算に関する事。
- (4) 文書及び法規に関する事。
- (5) 職員の人事、給与及び福利厚生に関する事。
- (6) 水道及び下水道の整備・維持・管理に関する事。
- (7) 部の工事の検査及び審査に関する事。
- (8) 部の危機管理に関する事。
- (9) 水道料金、下水道使用料、公設浄化槽使用料及び下水道事業受益者負担金の賦課・徴収に関する事。

### 重点的な取り組み：適正な予算編成と執行管理及び上下水道使用者の利便性の向上

人口減少や節水機器の普及などにより水需要が年々減少傾向にある中、物価高騰への対応や長期借入金利の上昇に伴う支払利息の増加など、公営企業の経営環境は厳しさを増しています。

このような状況下において、e L T A X導入による利便性の向上や公民連携によるスマートメーターの実証実験を開始するほか、他会計出資金による経営基盤の強化を図り、将来にわたって安定的に水道・下水道サービスを提供できるよう、計画的な事業執行と長期的な視野をもった財政運営を行います。

### 重点的な取り組み：水道料金のあり方についての検討

水道事業においては、収支見通しの悪化が懸念される中、老朽化した水道施設の強靱化が喫緊の課題となっていることから、総括原価方式に基づく適切な水道料金のあり方についての検討を進めます。

検討に当たっては、枚方市上下水道事業経営審議会での議論を開始できるよう、新たな投資財政計画の策定に向け、最新の人口推計等を基にした水需要の予測や、更新需要を踏まえた中長期整備計画とその実施計画となる令和11年度から10年間の短期整備計画の策定に着手します。

## 重点的な取り組み：中宮浄水場更新事業

### 【施策シート：26—03】

安全・安心で持続可能な水道の供給を実現するため、官民連携手法であるD B O方式を採用した中宮浄水場の更新・耐震化及び運転維持管理を進めており、更新・耐震化工事については引き続き前処理施設及び膜ろ過棟の建設を進めるとともに、機械・電気設備工事に取り組みます。

また、運転維持管理等については、既設中宮浄水場のほか配水場等の水道施設の業務を開始し、効率的な管理・運営に取り組みます。



【完成予定図】



【更新事業現場】

## 重点的な取り組み：上下水道施設の更新・耐震化

### 【施策シート：01—03】

#### 水道施設

強靱で持続可能な水道システムの構築に向けて、枚方市水道施設整備基本計画に基づき、良質な水道水を将来にわたって安定的に供給するため、配水池については、妙見山配水池更新・耐震化の詳細設計を進めます。また、基幹管路については、引き続き、「中宮浄水場～春日受水場間」の送水管更新・耐震化工事を令和11年10月の完成に向け進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
管路の耐震化率	30.6%	30.5%

#### 下水道施設

災害に強いまちづくりに向けて、枚方市下水道整備基本計画に基づき、市民生活の安全確保として維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図るため、蹠跎ポンプ場をはじめ各ポンプ場の耐震化工事や耐震性能の確保に向けた実施設計業務を進めるとともに、重要施設である受変電設備の更新工事等に取り組みます。また、管路施設については、今後も引き続き、点検・調査を実施し改築・修繕に取り組みます。

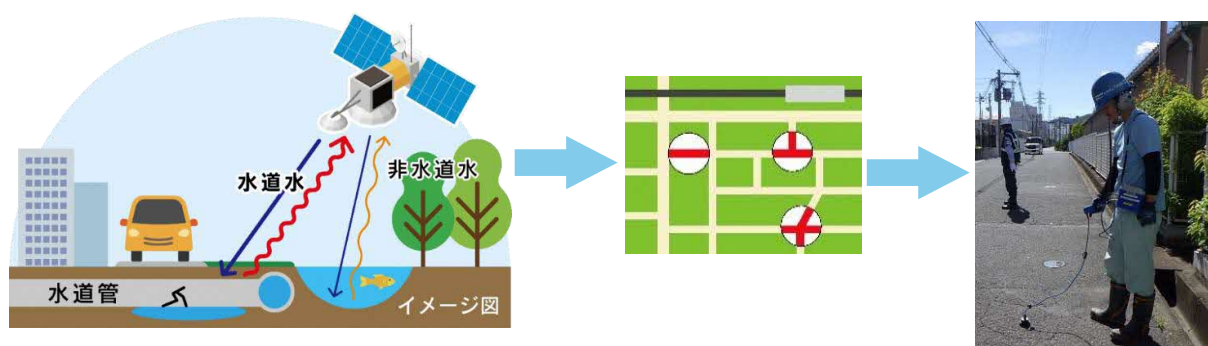
取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
ポンプ場の耐震化率	55.8%	42.9%

## 重点的な取り組み：人工衛星とAI解析データを活用した路面音聴調査業務

### 【施策シート：26—03】

水道管の漏水調査については、漏水事故が発生した場合の影響が大きいことが想定される、国道1号や軌道下に埋設している水道管を早急な対応が必要な管路として位置づけ、定点監視型の漏水調査機器を設置し調査を実施しているところです。

令和8年度は、引き続き重要な管路の調査を実施するとともに、市内全域に埋設している他の膨大な管路について、令和7年度に実施した人工衛星とAI解析を用いた漏水検知による漏水可能性エリアの絞り込みにより、効率的・効果的な音聴調査を実施します。



## 重点的な取り組み：浸水対策の推進

### 【施策シート：01—04】

浸水対策の主要な取組として、藤阪元町地区雨水管整備事業については、令和7年度から雨水排水施設の整備に着手し、令和9年度の完成を目標として、令和8年度も引き続き雨水排水施設の整備に取り組みます。

また、内野排水路については、関係機関と協議・調整を図りながら、基本設計を踏まえ整備に向けた検討を行います。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
主要な雨水幹線管渠の整備率	46.3%（※）	46.3%

（※）藤阪元町地区雨水管整備事業の浸水対策効果は、令和9年度の事業完了をもって発現することから、令和8年度の目標値は、令和7年度と同じものとしています。

## 重点的な取り組み：汚水整備事業

### 【施策シート：26—04】

公共用水域の水質保全を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちを目指すため、点在する未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。

令和8年度については、津田西町3丁目地区や津田元町3丁目地区等の5地区で整備工事を行うとともに、村野本町地区の実施設計に取り組みます。

## 重点的な取り組み：危機管理体制の強化

今後、発生が予測される南海トラフを震源とする巨大地震や風水害等の危機事象への備えを強化する観点から、市の危機管理担当部署との連携強化や災害協定締結団体との合同給水訓練を実施するとともに、緊急出動班体制の整備や、日頃の訓練を通じた実効性のある上下水道局危機管理マニュアルのブラッシュアップを図り、常に機動力を備えた体制の更なる構築に、職員一丸となって取り組みます。



合同給水訓練の様子

## 重点的な取り組み：人材育成と組織の活性化

水道・下水道事業に必要な専門的知識・技術の継承と向上を図るため、内部研修の実施、外部研修への参加及びOJTを通じた人材育成を推進するとともに、服務規律や人権尊重を含むコンプライアンスの徹底を図り、一人ひとりの心理的安全性が確保された風通しの良い職場環境づくりに取り組むことで、職員力が最大限発揮できる体制を確保し、より質の高いお客さまへのサービス提供につなげます。

## 重点的な取り組み：更なるお客さまサービスとしての情報発信

水道・下水道事業の各種取組や経営・料金等に関する情報について、お客さま目線でわかりやすい周知・啓発を行います。また、各種広報・PR活動を通じて、「更なるお客さまサービス＝付加価値」の充実に向け、必要な情報を的確に届けられることができるよう、継続的な情報発信に取り組みます。

あわせて、令和7年12月にリニューアルした上下水道局ホームページの活用とともに、情報誌『Water通信』の全戸配布を行います。更には水道・下水道事業の取組を短時間でわかりやすく伝える上下水道局版ショート動画の制作・配信を通じて、より効果的な情報発信を行い、水道・下水道事業へのご理解と信頼性の向上を図ります。



全戸配布版  
Water通信第14号



蛇口の凍結防止紹介動画